

日本人英語学習者の受容語彙と発信語彙の関係

横浜国立大学英語教育学会 第2回研究大会
横浜国立大学教育学部英語専攻4年 佐藤扶

目次.

- | | |
|---------------|------------|
| 1. はじめに | 6. 考察 |
| 2. 先行研究 | 7. リミテーション |
| 3. リサーチクエスチョン | 8. 教育への応用 |
| 4. 実験方法 | 9. 今後の展望 |
| 5. 結果の分析 | 10. 引用文献 |

1. はじめに

- ▶ 聴く活動(Listening)、読む活動(Reading)で単語を理解していても、話す活動(Speaking)、書く活動(Writing)では、同じ単語を使うことができない場合があった。
- ▶ なぜ、ある単語が受容的に知られているにもかかわらず、発信的に使用できないのかを研究する
→ 言語学習・指導に応用できるのでは？

3

2-1. 受容語彙・発信語彙とは？

- ▶ 受容語彙…聞いたり読んだりすることを通して意味を理解できるよう指導すべき語彙。
- ▶ 発信語彙…話したり書いたりして表現できるように指導すべき語彙。(文部科学省.2019)
- ▶ Receptive…リスニング、リーディングを通じて言語インプットを認識し、理解しようとする事。
- ▶ Productive…スピーキングやライティングでメッセージを伝達することによって、言語形式を産出すること。(Nation, I, S, P, 2013)

4

2-2. 受容語彙と発信語彙の関係性

■ Zhong (2018)

中国の2つの中学校に通う620名のEFL学習者が対象

- 受容語彙と発信語彙の関係を、Nation(2013)のフレームワークに基づき測定
- 受容語彙…形・意味・品詞・連想・コロケーションの知識を測定
- 発信語彙…センテンスライティングで語彙の発信的使用を測定

5

2-3. 受容語彙と発信語彙の関係性

■ 実験結果

✓ 受容的側面

⇒ 単語知識のさまざまな側面(意味、形、品詞、連想、コロケーション)は密接に関連している。

✓ 意味と形に関する知識

⇒ 発信的語彙知識の約2/3を測ることができた。

✓ 品詞・連想・コロケーションに関する知識

⇒ 予測力は低いですが、ライティングにおける単語の使用に関連している。
ただ、どの知識が関連しているかわからない。

6

2-4. 受容語彙と発信語彙に関して

- ▶ 語彙の大きさは、受容・発信的な語彙研究の主要な焦点となっている。
- ▶ 受容語彙の大きさは発信語彙よりも大きい(Webb,2008)。
- ▶ 受容的な語彙知識から、発信的な単語使用に至るまでの経過は明らかではない。
- ▶ 語彙知識の深さ(意味、連想、品詞、コロケーション)を調べることでどのように受容語彙から発信語彙に移り変わっているか調べることができるのではないか。

7

3. リサーチクエスション

(1)単語知識の意味、連想、品詞、コロケーション、そしてライティングにおける単語の使用、といった語彙知識の側面にはどのような関係があるか。

(2)ライティングにおける発信的な語彙使用を、それぞれの語彙知識の側面を用いてどの程度予測ができるだろうか。

8

4-1 実験方法

- 日本人大学生2～4年生、37名を対象に調査
- 受容語彙・発信語彙をGoogle Formを用いてテスト
 - 受容語彙
単語の意味・品詞・類義語を測定
 - 発信語彙
コロケーションの知識を測定
単語を与えて、それが含まれる1～2文のライティングタスク(3点満点)で測定

9

4-2. 単語の選定に関して

- 新JACET8000から番号3,000～4,000の単語を動詞のみ選定
imitate accomplish classify exceed assemble renew revise govern derive summarize
- 学習指導要領(2010)より、3,000語は受容語彙として学習していると推定
- 4名にプレテストを実施
ライティングテストで8割～10割の回答率
→3,000～4,000語で実施

10

4-3 テスト内容：The Meaning Test

意味理解セクション

英単語の日本語訳を回答しなさい。わからないものは空欄で構いません。

imitate

回答を入力

11

4-3 テスト内容：The Word Class Test

品詞セクション

英単語を、[] の中に書かれた品詞にしてください。() 内には1語書いてください。
ing と ed をつけた語は書かないでください。例：) perform⇒ xperforming operformance
わからないものは空欄で構いません。

問題例1：kind [名詞：～なこと] 答えは (kindness)

*「名詞」とは、主に、人や物の名前 (例：ネコ) を表す言葉です。

例：This is my cat. →cat が名詞

問題例2：introduction [動詞：～する] 答えは (introduce)

*「動詞」とは、主、動き (例：走る) や状態 (例：住んでいる) を表す言葉です。

例：I live in Japan. →live が動詞

問題例3：wonder [形容詞：～(の状態)の] 答えは (wonderful)

*「形容詞」とは、人・物・出来事などについて述べる言葉 (例：かわいい) です。

例：I have a cute cat. →cuteが形容詞

imitate [名詞]

回答を入力

12

4-3 テスト内容：The Association Test

類義語セクション

問の英単語と意味がよく似た単語を1つ選びなさい。

imitate

- adopt
- mimic
- increase
- prove

13

4-3 テスト内容：The Collocation Test

コロケーションセクション

() の中に入る、適した英単語（名詞）を1語書いてください。同じ語が入っても構いません。
 わからないものは空欄で構いません。
 例：play 答えの例は play (baseball)
 注：a, an, the はつかなくてもよいです。
 something, thingsは書かないでください。

imitate ()

回答を入力

14

4-3 テスト内容：The Sentence Writing Test

ライティングセクション

1文～2文のまとまった文章を書き、そのうち1文は与えられた単語を含むものにしてください。会話形式で書いても構いません。以下は、まとまった文章を書くのに役立つ単語です。

....., because..... so.....
Although....., That's why.....

例

EXCITING

Japanese New Year is an exciting festival for children, because they can receive many red packets with money from the adults. They will be jumping up and down happily.

15

5. 結果の分析

- ▶ 37名の参加者のうち、12名はライティングテスト無回答
→分析には使用せず。
⇒合計24名のデータを分析に扱った。
- ▶ 各テストの相関係数を算出。
- ▶ ライティングのスコアを目的変数、その他のテストスコアを説明変数として重回帰分析を行った。

16

5. 結果の分析①：平均点、標準偏差、正答率

Descriptive statistics in each test and sentence writing

Test	<i>M</i>	<i>SD</i>	% Of Correct Response
Meaning	7.66	1.86	76.67%
Association	7.25	1.78	72.50%
Word Class	5.87	1.42	58.75%
Collocation	7.41	1.91	74.17%
Sentence Writing	22.37	5.85	74.58%

Note. $N=24$.

17

5. 結果の分析②：相関係数

Pearson Correlations Among Sentence Writing and Other Variables (N=24)

	1	2	3	4	5
1. Meaning (R)	1				
2. Association (R)	.65**	1			
3. Word Class (R)	.75**	.47*	1		
4. Collocation (P)	.87**	.60**	.72**	1	
5. Sentence Writing (P)	.88**	.64**	.62**	.91**	1

Note. $N=24$. R=receptive knowledge, P=productive knowledge. * $p<.05$, ** $p<.01$

18

5. 結果の分析③：4変数による重回帰分析

Predictors of the Use of Productive Vocabulary in Sentence Writing

Independent Variables	Unstandardized Coefficients		Standardized Coefficients		
	B	SE	β	t	p
<i>Meaning</i>	1.41	0.55	0.69*	2.55	.019
<i>Association</i>	0.22	0.33	0.07	0.67	.506
<i>Word Class</i>	-0.84	0.49	-0.20	-1.71	.102
<i>Collocation</i>	1.92	0.48	0.62**	3.93	.000

Note. N=24. *p<.05 **p<.01 R²=.887, Adjusted R²=.864

19

6. 考察

■ RQ1に対して

- ▶ 単語の意味、品詞、連想、コロケーション、ライティング, どれも中から高(.47~.91)正の相関関係があった。
- ▶ 特に、コロケーションの知識とライティングには高い相関関係があった(.91**).
- ✓ 単語の知識はそれぞれ密接に関わっている。
- ✓ コロケーションの知識とライティングにおける単語の使用は関係性が特に密接である。

20

6. 考察

■ RQ2に対して

- ▶ 重回帰分析において偏回帰係数は、
意味(.69*)、連想(.07)、品詞(-.20)、コロケーション(.62**)
- ✓ 単語の意味がわかっていること、そしてコロケーションとして用いることができれば、その単語をライティングすることができる可能性が高い。
- ✓ 動詞において、語彙の品詞、連想という知識はライティングに影響が少ない。

21

7. リミテーション

- ▶ 3,000~4,000レベルのみ:ライティングできなかった被験者が12名
→1,000語レベルから段階的にテストする必要がある
もしくはあらかじめ語彙サイズを測定し、実験を行うべきであった
- ▶ 扱った品詞は動詞のみ⇒名詞、形容詞、副詞もそれぞれ測定する必要がある
- ▶ 対象者の少なさ(N=24)
Zhong(2018)はN=620のため、同様の結果がでるか更に検証する必要がある

22

8. ライティングにおける語彙指導

- 語彙の量的拡大も必要ではあるが、コロケーション知識の質的な深化が重要。
- ▶ 単語だけをバラバラに教える
英単語と日本語の意味を結びつける指導
だけではなく・・・
- ✓ コロケーションがわかるよう、意味のまとまりのある単位で提示する。
- ✓ イディオムや語彙フレーズも積極的にとりあげたい。

23

8. ライティングにおける語彙指導

a	b
1. 趣味として～をする: go in for~	1. 趣味としてテニスをする: go in for tennis 趣味として切手の収集をする: go in for stamp collecting
2. ～に夢中である: be crazy about	2. アメフトを見ることに夢中: be crazy about watching American football ジャズに夢中: be crazy about jazz
3. ～を実用化する: put ~ to practical use	3. ソーラーカーを実用化する: put a solar car to practical use 私たちの知識を実際的な用途に活かす: put our knowledge to practical use
4. かつろぐ: make oneself at home	4. どうぞおかつろぎ下さい: Please make yourself at home

- ▶ 動詞表現をまとめる時には、コロケーションがわかるようにリストアップする。
- ▶ aではなくbのような提示をする。(門田,2003)

24

9. 今後の展望

- ▶ 今回測定した単語の品詞は動詞のみ
⇒名詞、形容詞、副詞ではどのような結果になるのか
- ▶ 語彙サイズが小さい学習者(中・高)であっても、コロケーション指導をした場合、どれほど発信的に語彙を使用できるようになるのか。
- ▶ コロケーションの知識はライティング以外の分野でも応用できるのか？
→プレゼンテーション、スピーチ、ディスカッション、ディベートといった活動

25

10. 引用文献

- Zhong Hua Flora (2018), *The relationship between receptive and productive vocabulary knowledge: a perspective from vocabulary use in sentence writing*, *The language Learning Journal*, 46:4, 357-370,
- Nation (2013). *What should Every EFL Teacher Know?* Chapter7:How Do You Teach Vocabulary? ©2013 Compass Publishing
- Nation, I. S. P. (2013). *Learning vocabulary in another language second edition*. Cambridge: Cambridge University Press.
- Schmitt (2019). Understanding vocabulary acquisition, instruction, and assessment: A research agenda. *Language Teaching* (2019), 52, 261–274
- Webb, S. (2008). Receptive and productive vocabulary sizes of L2 learners. *Studies in Second Language Acquisition* 30, no. 1:79–95.
- The Japanese Association of College of English Teachers special committee (eds.). 2016 JACET 8000. Tokyo: Kirihlra Shoten. 大学英語教育学会基本語改定特別委員会(編著)(2016)『大学英語教育英語学会基本語リスト新 JACET 8000』東京:桐原書店
- 門田修平・池村大一郎(2003), 「英語語彙指導ハンドブック」. 大修館書店
- 文部科学省. (2019). 『高等学校学習指導要領解説(平成30年告示) 外国語編 英語編』. 開隆堂書店

26